

## 各地の話題 七ヶ宿町



2020年7月31日号掲載

### ゼロからの就農 ～中山間地域農業への挑戦～



農事組合法人千年塾の皆さん

七ヶ宿町の農事組合法人千年塾は、2013年、高齢化・担い手不足・遊休農地(耕作放棄地)解消を図るため立ち上げられた団体。美しい古里を守り、未来に希望を持つ強い農業を目指し、農業経営で生計を立てようとする意欲に満ちあふれた若者を育てたいとの思いも担っている。

初年度は、1.2haの水稲作付から始まり、現在は構成員の担い手農業者2名が中心となり、9haまで作付けが拡大している。作付している品種は主に「ひとめぼれ」で、震災後に宮城県の奨励品種となった玄米食向けの「金のいぶき」も作付している。

千年塾の成長の裏には、七ヶ宿町の稲作を支えてきた佐々木勝江さん(84)の指導による貢献が大きく、2015年には認定農業者になった。

構成員の一人、鈴木一宏さん(50)は、「ゼロからの農業ということで当初不安はあったが、着実に心身ともに実りがある」と自信に満ちた言葉で語る。

今年から農地中間管理機構農地整備事業がスタートし、町関係者は、千年塾と他法人が受け手となり農地集積が図られ、中山間地域農業の発展に繋がる活動を期待している。

【記事提供：七ヶ宿町農業委員会】